

～7月号～

皆さん毎日の作業ご苦労様です。

空梅雨に思われた6月が嘘のように7月は雨の連続です。

毎日の作業においては、普段よりも注意力や体調管理には気を使われていることと思います。

その様な状態の中でも集中力を切らさずに、事故なく毎日のコンディションを整えて勤務頂いている皆様とサポートして頂いているご家族に感謝致します。

さて、第二四半期（7月～9月）に入り、早速に「安全の日」活動を行って頂き有難うございます。

今期の第一四半期（4月～6月）においては、例年よりも事故件数が多く、この事故の連続が大きな事故「死亡事故」や「人身事故」に繋がるシグナルとしてとらえ、例年は「12月3日」だけを「安全の日」として取り組んでおりましたが、今年度は「毎月3日」の取組みに変えようと言うことに致しました。

弊社は46年の歩みの中で一度だけ、2007年12月3日に「死亡事故」を発生させております。その時も現在と同じように事故が頻発し、具体的な対策が打てない中で大きな事故を発生させてしまいました。

事故が起きてからでは悔やんでも「命」も「個人の信用」「会社の信用」も帰ってきません。待っていたのは、被害者と加害者の不幸、両者の家族の悲しみ、発生事業所全員の悲しみ、多額の賠償費を残った全員が本来もらえるはずの給与や手当から負担せざるを得なかった苦勞、マスメディアでの報道にさらされること、行政処分を受けることでした。

これは経営者である私が大事故へのシグナルに気づけなかったこと。従業員の皆さんに危険を感じさせる教育や取組を行わなかったことが原因です。

その経験から、皆さんや周辺社会の方が安全であるのなら、予防は何回でもしていいという気持ちから始めたことです。

何卒、ご理解とご協力をお願いしますと共に、現在はまだ「危険信号が点滅している！」という意識をもって、自分自身、仲間の行動にお互いに注意をはらい、全員が無事にこの事故が連続している状態から、一日も早く抜け出せるように「通勤も運転も作業も」今までも増して万全を期して頂くことをお願い致します。

また、ご家族の皆様におかれましては、大切なご家族が無事に帰ってくるために体調管理へのご協力と、無事に帰って来られます様に、出勤時の声がけなどのご協力を重ねてお願い申し上げます。

今月の19日には、皆さんの取組報告発表と表彰式を開催します。皆さんと笑顔でお会いできることを期待しております。

代表取締役 清水英次



<グループ本部よりお知らせ>

7月より、毎月3日は『安全の日』です。

各事業所では、飲料・飴等を所長自らがドライバー一人一人に配布し、安全を呼びかけました。



ホームページ QRコード



フェイスブック QRコード



ホームページURL

<http://www.shimizuunyu.com/>

フェイスブックURL

<https://www.facebook.com/shimizuunyu?fref=ts>

今月は東松山事業所です。

事業所だより

(株)キューソー流通システム東日本支社様より、日世(株)東松山工場様に併設された日世(株)東日本物流センター様の物流案件受託にともない新設されたのが、(株)エスユーロジの4番目の事業所となる東松山事業所です。

受託当初は日世(株)東松山工場様も建設中で完成・引渡が6月1日、事業所開設までおよそ3ヶ月と、大変短い準備期間にもかかわらず大勢の皆様の支えもあり、システムの機能障害をはじめ万全ではない状況下でも初在庫・初出荷を無事に迎えることが出来ました。

事業所の特徴としては既存の事業所とは異なり、保管管理・荷役作業・配車業務・運送といった物流全般を請負っており、当然ながら全てが学びながらの作業となっています。



当社としても新たに加わる納品先も多く、輸送品質の要となる乗務員研修にも力を入れ、安全・品質・コスト・コンプライアンスを中心に指導を展開しています。

清水運輸グループの総合物流業としての先駆け職場として、所員一丸となって頑張っていますので、ご支援宜しくお願い致します。



エスユーロジ東松山事業所 坂本 広宣

